

## 群馬県花き振興計画(第8次)の概要(案)

### 1 計画策定の背景及び目的

群馬県では首都圏に位置する恵まれた立地条件を活かし、平坦地から中山間地域まで地域特性に応じて、バラ、スプレーギク、トルコギキョウ、コギク、枝物類、シクラメン、カーネーション(鉢物)、アジサイ(鉢物)及び花壇用苗物類などの多彩な品目が栽培されている。

その一方で、ライフスタイルの多様化や冠婚葬祭等の業務用需要の減少による消費低迷の影響を受け、花きの販売価格は長期にわたり伸び悩んでおり、国内花き市場が縮小傾向にあることから、産地間競争は激しさを増している。

このように、花きを取り巻く情勢が大きく変化している中、国が定めた「花き産業及び花きの文化の振興に関する基本方針(令和7年4月30日公表)」を踏まえ、県内花き産地の動向や社会的諸条件を考慮し、群馬県の花き産業に関する5年後を目標とした振興計画を策定する。

### 2 計画期間

令和8年4月～令和13年3月(5年間)

### 3 全体目標

目標	基準年(令和6年)	目標年(令和12年)
群馬県産花き産出額	55億円	60億円

※引用元：生産所得統計(農林水産省)

### 4 推進方策

#### (1) 担い手の確保・育成

地域の核となる担い手の確保・育成に取り組むとともに、生産者団体の活性化による産地体制強化に取り組む。

#### (2) 生産基盤の強化

高温対策、スマート農業の導入、出荷期間の拡大、共同出荷体制の強化等により、生産者の所得向上と持続可能な花き生産体制の構築に取り組む。

#### (3) 需要拡大及び流通の効率化

消費者ニーズに即した商品生産及び積極的なPR活動を展開することで、「群馬県産花き」のブランド確立による販路拡大に取り組む。

### 5 第8次花き振興計画の見直し点

#### (1) 振興目標の新設、主要品目の目標を見直し

- ①新たに「担い手の確保・育成」「生産基盤の強化」「需要拡大及び流通の効率化」に関連する目標を設定。
- ②第7次花き振興計画では、重点9品目ごとの作付面積、出荷量及び農家数を数値目標としていたが、第8次では主要9品目ごとの振興目標及び課題に対する推進対策を設定した。
- ③地域別推進計画について、第7次花き振興計画では、地域推進品目のみ数値目標及び推進対策を記載していたが、第8次では、地域主要品目の振興目標及び推進対策を記載。

#### (2) 新たな課題への対応策を追加

近年の気候変動や資材価格の高騰、労働力不足などに対応し、持続可能な花き生産を実現するため、次の4つに対する推進対策を追加。

- ①気候変動(高温)への対応
- ②省力化・低コスト化に向けた技術活用の推進(物価高への対策)
- ③花き流通体制の効率化
- ④環境負荷低減・資源循環型農業の推進